

フォーカス



著の使い方を入試に採用、佐世保の女子高校長

長崎県佐世保市にある久田学園佐世保女子高校の三代目の校長を務める。一月三十一日の入学

久田 順子氏

使い方を試す。

同校は一九〇三年に祖

母が創立。母が二代目の

校長で、これまでしつけ

教育を重視してきた。一

同校に赴任。八〇年校長

に就いた。五人姉妹の長

女で幼いころに父を亡く

し、生活の基本動作は母

から教えてもらった。

と危機感を抱く。

目標は「中堅の女性を

育てること」。社会を支

えるのは一部の秀才では

なく、地味でも幸せに暮

食事時に

はしを上手

に使えない

生徒に話を聞いてみると

「親に教えてもらって

ないから」との返事。当

たり前のことができない

と、個性も形づくれない

歳

個性育成は生活の基本から

入れる。断面が六角形の
特注はしで、おはじきや
インゲン豆などを十粒ず
つつまみ別の皿に移して
もらう。受験生のはしの

学年四十人の人数で、必
修科目には茶道や華道も
ある。東京家政大学を卒業
後、家庭科の教師として

「親に教えてもらって

る教育のあり方に一石を
投じる、大海の一滴にな
ればいい」と力を込める。
11ひさた・じゅんこ、71